

多様な性に関するアンケート

このアンケートは、「帯広市男女共同参画市民懇話会」で、パートナーシップ制度や多様な性に関する行政施策の検討を行う参考とするため、パートナーシップ制度へのご意見や行政への要望を伺うものです。

ご回答は事務局で内容を要約して活用します。個別に公表することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、8/16（月）までに、率直なご意見をお寄せください。

1 パートナーシップ制度について

市民懇話会では、別紙1の論点を中心に、パートナーシップ制度を導入する方向で検討を行う予定です。これらの論点を含め、帯広市でどのようなパートナーシップ制度を導入することが望ましいと思いますか。ご意見をお聞かせください。

【ご意見】

2 行政サービス等について

全国の他都市では、多様な性に関わり、別紙2のような取り組みが進められています。これらを含め、帯広市において、どのような行政サービスや取り組みが必要だと思いますか。ご意見をお聞かせください。

【ご意見】

別紙1 論点一覧

- 1 対象者はLGBT等とすべきか、事実婚なども含めるべきか。
- 2 証明書には、子供についての記載も含めるべきか。
- 3 証明、宣誓など、どのような種類の制度が適切と考えるか。
- 4 年齢、居住地、配偶者の有無など、どのような要件が必要と考えるか。
- 5 再交付、返還、取消しなど、どのような手続きが必要と考えるか。

別紙2 他都市における行政サービス等の事例

相談

- ・ 電話相談の開設
- ・ 相談窓口（常設）の設置・紹介、相談会の実施
- ・ SNSを活用した相談対応

普及啓発

- ・ 市民向け講座やパネル展の開催、啓発資料の作成
- ・ 多様な性に関する啓発活動の表彰
- ・ 事業者への協力要請、研修会の開催、ガイドブックの作成
- ・ LGBTフレンドリー企業の認定
- ・ 多様性を尊重する都市宣言
- ・ 行政職員に対する研修の実施
- ・ 支援者マークの普及促進

交流機会

- ・ 当事者や支援者等の交流会の開催
- ・ 当事者の交流スペースの設置
- ・ 当事者と行政との情報交換会の開催

医療・福祉

- ・ 公立病院でのパートナーへの病状説明、手術同意
- ・ 救急搬送時のパートナーへの病状説明、救急車への同乗
- ・ 保険証における通称表記、性別の裏面表記
- ・ 保育所等や学童保育でパートナーを保護者として取り扱い
- ・ 家族介護慰労金の対象にパートナーを含む
- ・ 自殺予防のための普及啓発

住 宅

- ・ 公営住宅を利用できる同居親族にパートナーを含む
- ・ 住宅の取得補助や利子補給を利用できる新婚世帯にパートナーシップ関係の二者を含む

学 校

- ・ 児童生徒用の資料作成、講演会の開催
- ・ 教員研修や出前講座の開催
- ・ 制服や体操着、更衣室やトイレの利用に関する配慮

その他

- ・ 性別記載欄の削除
- ・ 公共施設における多目的トイレの表示の改善
- ・ 避難所における性別記載や施設利用に関する配慮
- ・ 配偶者と同様にパートナーが税証明を申請可
- ・ 市民霊園や合葬墓の利用、墓地の使用権の承継

多様な性に関するアンケート結果

- ◆実施期間：令和3年7月21日（水）～令和3年8月16日（月）
- ◆実施方法：当事者団体の代表者を通じ、メンバーや団体が主催したイベントの参加者などからご意見等を聴取
- ◆回答者数：11名

1 パートナーシップ制度について

(1) パートナーシップ制度の対象者について

選択肢	回答者数
LGBT（性的マイノリティ）のほか、異性間カップルの事実婚も対象とする。	9
LGBT（性的マイノリティ）の人に限定する。	2
よくわからない。	0

(2) 子供の名前の記載について

選択肢	回答者数
カップルの2名のほか、子どもの名前も記載する。	6
カップルの2名のみ記載する。	3
その他（※）	1
よくわからない。	1

※子どもの年齢にもよるでしょうし、今後できる場合もあるだろうから、カップルの名前は必須でも子どもは選べるようにしたら良いのではないのでしょうか

(3) パートナーシップ制度の種類

選択肢	回答者数
【証明制度】 【宣誓制度】 のどちらかを選べる制度	7
【宣誓制度】	3
【証明制度】	1
よくわからない。	0

(4) その他自由意見

○ここ数年で様々な他自治体でパートナーシップ制度導入が進んでいるのはご存知だと思います。ただ、自治体ごとに色々な方式があって、どのような方式がいいのか悩んでおられてこのアンケートを実施されたのだと思います。私は導入にあたっては、・制度の利用者をできるだけ限定しないこと（同性間のパートナーシップなどに限定すると曖昧な性の人などがその狭間に立ってしまう）・ポリアモリーの人など複数人で愛し合っている人も制度を利用できるようにすること・もちろん異性間でも利用できるものであることが重要だと思います。同性間だけの選択肢だと当事者としてはすごく使いづらくなるのではないかと思います。

○全国的に制度を導入する自治体も増えてきている状態ですが認知度はまだまだ低いと思うので制度を整えるのも大事なことです。認知度を高めるのも大事なことだと思います。

2 関連施策について

(1)相談事業について

選択肢	回答者数
SNSを活用した相談対応（LINE相談など）	11
市役所等に相談窓口を設置する。	8
電話相談	4

(2)市民への普及啓発について

選択肢	回答者数
事業者への協力要請、事業者向け研修会の開催やガイドブックの作成	9
LGBTフレンドリー企業の認定	8
多様性を尊重する都市宣言	8
行政職員に対する研修の実施	7
市民向け講座やパネル展の開催、啓発資料の作成	6
多様な性に関する啓発活動の表彰	6
支援者マーク（アライマーク）の普及促進	4

(3)交流活動について

選択肢	回答者数
LGBT当事者や支援者（アライ）等の交流会の開催	11
LGBT当事者の交流スペースの設置	10
LGBT当事者と行政との情報交換会の開催	8

(4)医療福祉について

選択肢	回答者数
公立病院でのパートナーへの病状説明、手術同意	11
救急搬送時のパートナーへの病状説明、救急車への同乗	10
自殺予防のための普及啓発	10
保険証における通称表記、性別の裏面表記	9
保育所等や学童保育で、パートナーを保護者として取り扱う	9
家族介護慰労金の対象にパートナーを含む	8

(5)学校について

選択肢	回答者数
制服や体操着、更衣室やトイレの利用に関する配慮	11
児童生徒用の資料作成、講演会の開催	10
教員研修や出前講座の開催	9
よくわからない。	0

(6)その他の分野について

選択肢	回答者数
公営住宅を利用できる同居親族に同性パートナーを含む	10
住宅の取得補助や利子補給を利用できる新婚世帯にパートナーシップ関係の二者を含む	10
避難所における性別記載や施設利用に関する配慮	9
公共施設における多目的トイレの表示の改善	8
配偶者と同様にパートナーが税証明を申請できるようにする	8
性別記載欄の削除	7
市民霊園や合葬墓の利用、墓地の使用権の承継	7

(7)その他自由意見

○各地で当事者交流会は行われていますが、これは自治体が主催すべきものではないと思います。確かに道内でこのようなイベントを定期的で開催している都市は札幌、釧路など多くありません。このような交流会を実施することは大切なことですが、市が主催するとなるとイベントとして公に公表しなくてはならなくなると思います。その点なども考慮すると現状のボランティア方式のままが望ましいと思います。帯広市は本当に快適で暮らしやすい良い街だと思ってます。ただ私がゲイだということ、その点を考慮するととても住みづらい町でした。なので就職先を東京にしました。私のゲイの友人で結構帯広近郊出身の人が札幌市にいたりします。どうやら帯広市で生まれ育ったゲイは高校を卒業すると札幌に行ってしまうみたいです。なぜでしょうか。帯広市のLGBTsに関する政策は本当にすごく進展していると思います。感謝しかないです。このようなアンケートを実施できる段階にまで来たことは元市民として誇らしく思います。ただまだ他の都市に全く追いついてません。かなり遅れをとっています。道内の先進都市として今の動きをぜひ加速させて1日でも早くこれらの政策を実行に移してください。数年後戻りたい街帯広になっていることを期待しています。

○恋愛関係ではない同居やシェアハウス事業